

図書委員のおすすめ本

『おいしいごはんが食べられますように』
高瀬隼子／著 講談社

「みんなと仲良く」「空気を読もう」……
そんな言葉に、ちょっと疲れていませんか？
この本に登場するのは、仕事ができるけど不器用な人、優しく可愛いけれどどこかズルい人など、私たちの周りにもいるようなリアルな人ばかり。綺麗事だけじゃない、人間の「ずるさ」や「本音」がこれでもかと描かれていて、読むと心がザワザワします。読んだあと、友達と「誰に共感した？」と語り合いたくなる、ちょっと大人な一冊です。



新着図書紹介(一部)

『多類婚姻譚』913.6-726
風良ゆう／著 講談社

本屋大賞受賞作家が描く愛のかたち。
「Beautiful Dreamer」：結婚したい。ありふれた夢のはずなのに、東京ではこんなにも遠い。
「小鳥たち」：離婚して、実家の書店を継いだ一葉。そこに偶然、初恋の人がやって来て……。
他、3篇を含む婚姻譚。



『おい点P、動くんじゃねえ！
ニガテ民のための算数と数学の本』
410-25
とけいまわり／著 晶文社

速さ、つるかめ算、文章題など、算数・数学で誰かが抱く疑問や不満を厳選。苦手なケンジと数学好きの兄の対話を通じ、学ぶ意味や繋がりをひも解く。生徒から大人まで「そだったのか！」と納得できる画期的一書。



『立体の設計 ファッション、建築、グラフィックデザインのための3次元の考え方』
757-26
ポール・ジャクソン／著
牧尾晴喜／訳 ビー・エヌ・エヌ

約80枚の写真と300超の分かりやすい図解で学ぶ、ペーパークラフトの技法書。紙を折ったユニットを組み合わせる立体構造の作り方を、60の作品作りを通して体系的に解説。



『かがみの狐城』辻村深月／著 ポプラ社

「もし願いを1つだけ叶えられたとしたら？」そんな問いから始まる不思議な物語です。鏡の中に集められた7人の中学生たちが、それぞれ悩みを抱えながら少しずつ心を通わせていきます。
新しい環境やクラスで悩みや不安を抱えながらも頑張っているあなたに、ぜひ読んでほしい一冊です。



『小説君の名は。』
新海誠／著 KADOKAWA

映画も面白いです！



『また、同じ夢を見ていた』
住野よる／著 双葉社

大ベストセラー青春小説「君の隣をたべたい」の著者住野よるの第二作。
友達のない少しおませな小学生の少女が、風変わりな大人たちとの交流を通じて「自分にとっての幸せとは何か」を見つけていく心温まる成長物語。



『先生に教えてほしかった英文法55のギモン』
835-726
田中茂範／著 Gakken

「ここではaをつけるのか、つけないのか？」「willとbe going toの意味の違いは？」など、クイズのように楽しく読み進めながら英文法が理解できる。



『AI脳クライシス デジタルは人から何を奪うのか』
491.3-26
酒井邦嘉／編著 羽生善治／他著 集英社インターナショナル

生成AIの急速な普及に伴う脳への悪影響や教育現場でのリスクとは。言語脳科学の第一人者・酒井邦嘉氏が、羽生善治氏ら各界の識者と、AIが人間の思考や感性に及ぼす「負の可能性」を最新知見から語り合う。使い続けると我々の知性や子どもの脳はどうなるのか、AI依存の危険性に強く警鐘を鳴らす一冊。



『レイチェル・カーソン「沈黙の春」
科学に「いのち」は見えるの？』
519.7-26
中村桂子／著 中央公論新社

60年前に鳴らされた科学への警鐘は、現代にも通じる。自然と共生する道を模索する、レイチェル・カーソン入門に最適な一冊。

『高校生のマネシたくなる勉強法
成績アップで未来をつかむ！』
002.7-26 いゆび／著 実務教育出版

「挫折しない計画の立て方とスケジュール管理」、「最後まで走り切るモチベーションを維持するための考え方」など、勉強時間が楽しくなるアイデアが満載。

